

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学薬学部基礎医療薬学講座生理病態部門では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

水疱性類天疱瘡患者におけるステロイド治療の反応性に関連する因子の研究

1. 研究の対象および研究対象期間

当院皮膚科において水疱性類天疱瘡治療のために入院している患者診療録で2009年4月1日～2021年6月30日までのカルテを対象とします。

2. 研究目的・方法

水疱性類天疱瘡（BP）は表皮基底膜抗体の関与により表皮化水疱を生じる自己免疫性水疱症の、原因不明の代表的難治性疾患です。年齢的には60～90歳の高齢者に多く、臨床的には皮膚に多発する掻痒性紅斑と緊満性水疱を特徴としています。治療はステロイド内服が主体ですが、治療に抵抗性のある患者がかなり存在します。難治例ではステロイドパルス療法、各種免疫抑制薬、血漿交換療法、γグロブリン大量静注療法、インターフェロンガンマ療法などを併用しますが、必ずしも決定的な治療法は確立されていません。現在の臨床上の問題点は、ステロイドに抵抗性があると治療が困難になることとあります。また、高齢者の自己免疫疾患であるBPの発症や予後が、免疫の老化とどのように結びついているかも不明です。このことから、ステロイド治療の反応性に関する材料があれば、今後の治療方針に有用であると考えられます。今回の研究では、ステロイドに感受性のある患者とない患者の臨床データの違いを統計解析して、治療方針の決定に有用なデータを特定することを目的とします。

研究期間

2020年7月31日～2021年7月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

対象入院患者データのうち、治療薬に関する情報（対象薬物、投与量、投与期間）、患者背景（年齢、性

別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬) および臨床検査項目 (血液、生化学)、バイタル検査を調査項目

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属: 薬学部基礎医療薬学講座生理病態学部門 氏名: 巖本三壽
住所: 東京都品川区旗の台 1-5-8 昭和大学 電話番号: 03-3784-8040

研究責任者: 巖本三壽